

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 7 18	距離感の近さ、閉鎖的な空間などにより、入居者さんと職員の関係が逆転しないように、日々意識していく必要がある。 (言葉遣い、入室・介助時の声かけなど)	人生の先輩であること、尊敬すべき存在であることを常に忘れず、援助に当たる。 職員間で指摘、向上できるチーム作りを目指す。	・日々チームとして、振り返りが行える環境作り (言葉遣い、援助で間違ったことがあれば指摘しあう) ・接遇マナーの習得・実施。	12ヶ月
2	10	ご家族に対して、要望を聞けるように年に1度アンケートを実施している。頂いた意見の反映方法について検討を重ねる必要がある。	頂いた意見に対して、事業所としてどのように考え・取り組んでいるかを反映する。	・アンケート結果と共に、職員間で検討した事柄や取り組み内容を、運営推進委員会にて報告。 ・運営推進委員会にて、再度参加者から意見をいただき、検討を行い参加されなかったご家族にも報告を行う。	6ヶ月
3	3	ふれあいサロンなどで、地域の高齢者に対して食事会を開催している。しかし、地域への認知症の人に対する知識の発信・還元・貢献に対して、まだまだ取り組む余地がある。	認知症に対する知識を、地域の方にも知ってもらう機会を作る。困りごとを相談できる、気軽に立ち寄れる場所を目指す。	・地域の小学校・幼稚園などに出向き、繋がりを持つ。認知症高齢者を身近に感じてもらう・知ってもらう環境作りを作る。 ・地域の大学生に協力してもらい(ボランティアなど)、より地域に出掛け知ってもらう機会を作る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。